

## 高齢者実態調査の概要について

### 1 目的

令和5年度の第9次高齢者総合福祉計画の策定にあたり、介護保険の要介護等認定者をはじめとする高齢者等における介護サービスの利用状況、利用意向等の実態を把握するため、一般高齢者、要支援・要介護認定者、介護保険サービス事業所への各種アンケート調査及び高齢者関係団体への聞き取り調査を行うことにより、計画改定にあたっての基礎資料とする。

### 2 調査の名称

高齢者の暮らしと介護に関する実態把握調査

### 3 調査の種類と主な内容

調査の種類	調査方法・対象者・調査内容	
一般高齢者	調査方法 対象者 調査内容	アンケート調査（郵送による配付・回収） 65歳以上の高齢者 約1,200人 身体機能、閉じこもり、認知症等のリスク要因、日常生活や社会参加の状況  【資料4-2】
要支援・要介護認定者	調査方法 対象者 調査内容	アンケート調査（郵送による配付・回収） ※前回は介護認定調査時に確認していたが、認定調査員の負担が大きいため、郵送によるアンケート調査に変更 要支援・要介護認定者 約1,500人 要介護の状況、介護サービスの利用状況、今後の利用意向、悩みごとや相談相手等 【資料4-3】
介護保険サービス事業所	調査方法 対象者 調査内容	アンケート調査（郵送による配付・回収） 市内の介護保険サービス事業所 約400事業所 介護保険サービスの提供状況、事業所間の連携等  【資料4-4】
高齢者福祉関係団体	調査方法 対象者 調査内容	聞き取り調査 老人クラブ ボランティア団体 地域包括支援センター 高齢者サロン 高齢者の暮らしと介護について

### 4 アンケート調査新設問（案）

前回の調査の項目に加えて、社会情勢等を踏まえた市独自の新規設問を設定し、効果的な施策の検討に繋げる。（別紙 新規設問案）